

総務産業委員会報告書

令和6年8月23日

備前市議会議長 西 上 徳 一 様

委員長 森 本 洋 子

令和6年8月23日に委員会を開催し、次のとおり調査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	調査結果	備考
1 地域開発についての調査研究 ① 旧アルファビゼンについて ② ポプラ備前三石店について	継続調査	——
2 文化観光についての調査研究 ① 令和6年度の夏まつり（花火大会）の実施状況について ② 令和6年度の備前焼まつりについて	継続調査	——
3 安全・防災についての調査研究 ① 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を受けての市の対応について ② 備蓄品の状況について	継続調査	——
4 図書館についての調査研究 ① 図書館建設及び運営について	継続調査	——
5 文化スポーツについての調査研究 ① ロサンゼルス・メジャーリーグ応援ツアーの実施状況について	継続調査	——
6 企画政策についての調査研究 ① ふるさと納税について	継続調査	——

<報告事項>

- 備前市美術館館長の就任予定者について（備前市美術館準備室）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
閉会中の継続調査事件	2
地域開発についての調査研究	2
文化観光についての調査研究	10
安全・防災についての調査研究	15
図書館についての調査研究	18
文化スポーツについての調査研究	19
企画政策についての調査研究	21
報告事項	22
閉会	26

総務産業委員会記録

招 集 日 時	令和6年8月23日（金）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午前11時37分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出 席 委 員	委員長	森本洋子	副委員長	丸山昭則
	委員	尾川直行		石原和人
		山本　成		松本　仁
		内田敏憲		
欠 席 委 員		なし		
遅 参 委 員		なし		
早 退 委 員		なし		
列 席 者 等		なし		
傍 聴 者	議員	なし		
	報道	あり		
	一般	なし		
説 明 員	危機管理課長	竹林幸作		
	市長公室長	濱山一泰	市長公室参与	杉田和也
	ふるさと納税課長	芳田　猛	観光・シティプロモーション課長	片岡英史
	備前焼振興課長	桑原淳司	プロジェクト推進課長	祇園進太郎
	備前市美術館準備室長	林　順一	兼市街地活性化政策課長	
	産業建設部長	河井健治		
	文化スポーツ部長	森　　優	文化スポーツ振興課長	杉山麻里
	図書館活動課長	高橋清隆		
	総合支所部長	馬場敬士	三石総合支所長	瀬尾茂樹
	日生総合支所長	横山修一		
審 査 記 録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○森本委員長 おはようございます。

ただいまより総務産業委員会を開会いたします。

閉会中の継続調査事件に関する調査研究を行います。

***** 地域開発についての調査研究 *****

まず初めに、地域開発についての調査研究です。

1 点目、旧アルファビゼンについて。

担当課から今の状況を少し説明していただければと思います。

○祇園市街地活性化政策課長 それでは、旧アルファビゼンの改修について、市街地活性化政策課から説明をさせていただきます。

現在、工事は第1期改修工事として部分解体工事がもう終わり間近になってきております。工期自体は9月末ですが、できるだけ早く整理ができ第2期工事に取りかけられるよう目指して工事を進めております。

そして、旧アルファビゼンの内部の改修計画ですが、3、4階について計画がある程度まとまりましたので、このたび9月補正予算として議案を提出させていただく予定です。詳細は、近日中に送付予定の議案内容を御覧いただきたいと考えておりますが、本日は改修プランの概要と今後の進め方について簡単に説明させていただきます。

平面プランとしましては、3階は運動ができるフロアと考えています。主要室の分けとしては3つありまして、筋トレや体力増進等を目的に利用できるトレーニングジム、公民館活動としてグループ等で利用できるレクリエーション室、高齢者等誰でも簡単に体を動かすことができる運動室の配置を考えております。

そして、4階ですが、現在通信制の学校としての利用に向けて協議を行っております。そのため、現段階はエレベーターホール周辺以外の内装等の改修はしませんが、この部分は協議が進んでいって方針が定まった時点で学校として必要な整備を行いたいと考えております。

また、この3階、4階の改修工事を変更するのに併せて未発注の外構工事も行いたいと考えております。

続きまして、今後の流れについてですが、9月議会で予算の議決をいただきましたら旧アルファビゼン第2期改修工事の変更として請負業者への発注を考えています。その際に、変更契約について再度契約締結議案の提出をさせていただくこととなりますので、その際は御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○森本委員長 これに関して質疑のある方。

○松本委員 通信制という意味がよく分からない。具体的にもうちょっと詳しく説明してくれる。

○祇園市街地活性化政策課長 通信制の学校とは、基本的に通信、インターネットを通じてパソ

コンを使って授業を受けるという形ですが、完全な通信じゃなしに幾らか通ってくる、週2日から3日程度というふうには今の段階では聞いてるんですが、通ってくることもあるので、教室、あと職員室等の配置が必要というふうに考えております。

○松本委員 よう分からんですね。中身は何ですか。形態は分かるんで、通信制という意味。

○祇園市街地活性化政策課長 通信制の高等学校になります。

○松本委員 例えば高等学校というと普通科があり、いろんな科があり、具体的には何ですか。

○祇園市街地活性化政策課長 まだ、具体的なところまで協議できてないところはあるんですが、一般的に普通科の学習ができるというふうには聞いております。場合によっては専門的なものもあるかもしれませんが、そこは今後細かい協議を進めていきたいと考えております。

○山本委員 予算的に分からなくなったんで、この旧アルファビゼンの今の案が決まってから幾らお金がかかったか、実施設計からいろいろあると思うけど、時系列で出すことはできますか。

○祇園市街地活性化政策課長 事業費は年度をまたいでずっと設計からしてきておりましたので、そちらのほうは整理をさせていただいて、提出はできるかと思います。

それと、これアルファビゼンに絡むところで一番最初でいうと備前市の庁舎で検討したりとか、そういった違う検討等もありましたので、その整理の仕方としましては今回の減築改修で方針が定まったところからというところで整理をさせていただけたらと思うんですが、いかがでしょう。

○山本委員 それで結構なんで、お願いします。

○森本委員長 大丈夫ですか。

○祇園市街地活性化政策課長 整理ができ次第、また提出させていただきます。

○森本委員長 よろしく願いいたします。

○石原委員 今、山本委員、遡っての旧アルファビゼンの経費の時系列でという話ですけど、せっかく遡っていただけるんなら庁舎整備、それから仮庁舎かつてありましたけれども、そこまで僕は遡らんでもええんですけど、せめて比較検討のところの設計、調査設計業務とか、そういうところも含めて遡っていただけたらとは思います。

○祇園市街地活性化政策課長 確認させてください。比較検討というのが、以前は最初の頃基本構想というのも発注しまして、それで取り壊して新築する場合、減築する場合、そういった検討をした業務もあります。そういったアルファビゼンの跡地を活用する、庁舎じゃなしにアルファビゼンの跡地を活用する、そこでの設計業務、検討業務からでよろしかったでしょうか。

○石原委員 もう既に探せば提示されとる中へあるかも分からんですけど、振り返りというか、そのあたりから僕は結構かと思います。よろしくお願いします。

○森本委員長 祇園課長大丈夫でしょうか。

○祇園市街地活性化政策課長 整理させていただきます。

○森本委員長 お願いします。

○尾川委員 過去のこともあれじゃけど、これからのことがね。今、何かもう中途半端なトレーニングジムするとか、降って湧いたような話が地元には流れとんじゃ、既に。そこら辺をもうちょっと明確にしてもらわんと、こっちの立場はない。今初めてそれに変わってきて、目的が変わったり、社会福祉協議会が入る言よって入らんし、もう少し計画性を明確にしてほしい。じゃないと例えば通信系の高等学校と言うけど、それを受けて改修する言よんじやろ。予算がどんなにか、補助があるかねえんか。提案があつてからの話かも分からんけど、ここまで概略説明するのは事前審査やのうてもある程度腹割って、要するに議案として出してこうとしとんじやったら説明を今までもあつたと思う。その辺何かもうどうもごてごてしてから、補助があるかねえんか、空き家対策のほうでいくんか、もうちょっとその辺を整理して報告してくれりゃええんじゃけえな。

○祇園市街地活性化政策課長 議案として提出させていただく予定でしたので、簡単にとっただけですが、説明させていただきます。

3階の部分、こちら運動ができるスペースと申しましたが、このフロアについては空き家対策の補助金が充てられるということで整備を考えております。そして、トレーニングジム等は以前から計画をしております、前の委員会でも説明させていただいたんですが、予算の都合上1、2階がメインの整備という形で前回なっております。そして、今回予算の整理等行いまして、以前検討した内容を再度配置を考えたような次第であります。

4階につきましては相手方と現在協議をしておりますので、まだ具体的な内容が決まっておりません。部屋の配置もまだ詰まっておりますので、その辺を詰めていながら整備費用、財源等どうなるのかというのは検討していきたいと現在考えております。

○尾川委員 全然よう分からん。アバウトな話ばっかしじゃ。学校が来るというて、これ通信系の高等学校じゃろ。通信系また種類が違う学校をつくる、呼んでくるということが、どこが来るんか知らんけど、推察できるけどな。私立にすんですか、あるいは公立というか、市立にするんかどうか、県立にすんか、その辺も明確にある程度説明してもらわんと、たんびに話が変わってきたりして、もうちょっとはっきり。学校が来るか来んか分からん、まだはっきりしてねえというんじやったら学校を想定して改修するということ。

○祇園市街地活性化政策課長 こちらの学校は、先方と話しする中では事情があつて学校へ通えなくなった子供、不登校だったり、いろんな事情があつて普通の学校に通えないけど、通信制の落ち着いて勉強ができるような子供が通う学校だと聞いております。

それと、整備についてですが、学校として使用を想定するエリアについては決めておるんですが、部屋の配置、設備等詳細に決まっておりますので、そこは未整備の形で方針が定まった時点で部屋の仕上げだったり、室の数だったりというのを確認した上で整備をしたいと考えています。現段階で整備しても手戻りが生じることは想定されますので、現在そういう形で学校スペースを確保しておくというふうに考えております。

○尾川委員 この学校は、通信系なんか、通信制なんかな。最初はＩＴ関係とか、情報系の学校かなと思うとったけど、よう聞きよりや通信制というか、その辺もよう分かん。こっちは通信、ＩＴ関係の学校なんか、それとも通信制の学校なんか。これ全然違うてくるわけじゃ。まだ話ししよるからはつきりせんから答えようがねえというかもしれんけど、はつきりしてねえことと言わんほうがええと思うな。予算も決まってねえんじゃから上げずにいきやええが。中途半端なアバウトな話ばっかしで、信用せえいうたってそんなもんじゃねえが。補助金も全然触れてねえと思う。補助金があるんかねえんか、それも答えてもらたらと思う。

○祇園市街地活性化政策課長 説明が分かりにくかったかもしれませんが、通信制の学校を想定しております。そして、９月の議会に議案で上げさせていただく予定の部分、改修については補助金、空き家の対策補助金が充てられるということで想定しております。

そして、学校部分については今回整備はせずにスペースだけ確保しておきます。それで、そちらの整備につきましては改めて話を詰めていって整備内容等決まると、そういう学校の実態等を踏まえた上で補助とか起債とか、有効なものが使えるものを探しながら検討していきたいと考えております。

○尾川委員 補助金は、その前から空き家ということで６億５，０００万円じゃったかな、その総額については変わらんということ。新たな事業をするからプラスアルファの補助金が出てきたんかなと思うとったんじゃけど。

○祇園市街地活性化政策課長 前回の委員会で少し説明させていただいたんですが、第２期工事を発注したときに入札で競争してかなり契約額が下がっております。それにより補助割れを起こす、本来もらえる補助金を執行するだけの契約額にならなかったんで、今回追加工事をする事により本来もらえる補助金を賄うというふうに考えております。なので、追加の補助ではなく、以前話をした６億５，０００万円、そのうち５００万円が委託業務に充てるようになっているんですが、その補助金を満額もらえるようにというふうに考えております。

○松本委員 この件について今日議論すんか、それとも提出されて以降の委員会で議論されるんか、いろいろあると思うけど、やり方は。ただ、今聞いて物すご曖昧と思う、どうも何か思いつきのようないきがして仕方ない。

通信制の学校、どこが来るんか知りませんが、どういう形になるか分かりませんが、そういう学校を開くということは専門家も要るし、スタッフをどうするんかとかも含めて考えないと、ただ場を提供しただけでということじゃいけんと思う。

それから、ジムをつくるにしても、３年か４年前だったと思うけど、浜山の公園にそういう体育施設とかジムをつくって健康管理をするという構想があってどっかからか、何億円か忘れましたが、補助金が出て、補助金というよりも日本財団だったかな。どっか忘れましたが、３年後については独立採算でやれというふうな案があったと思うけど、それなんかでも日生のジムがありますが、どれぐらい利用してるかというあまり利用されてないと思うよ。高齢者がどう

のこうの言いましたけど、特に高齢者なんて余計利用してない現実があるわけですよ。ほかの施設にジムがあるかどうか分かりませんが、そういう実態も含めて、ただないよりあったほうがいい、こういうことが望まれるとか、現実とそぐわないような、頭の中でこういうもんがあったらいいという発想で提案されてるような気がして仕方ない。そういう現実も含めて、どれぐらい利用されてるんかとか含めて、もうちょっと具体的な資料を含めて提案していくべきじゃないかなと私は思います。

○尾川委員 言葉が悪いかもしれんけど、金額が余ったから追加で使うという、その辺をきちっと明確に数字を見せて、今度。余ったから何かにするんじゃというような、何かそんなことが本当通るかどうか知らんけど、国の補助金が。その辺を明確にして。

○森本委員長 この件に関しては9月にまた上程されますので、これぐらいで終わらせていただきたいと思いますので、お願いいたします。

それでは、次に行かせていただきます。

2点目のポプラ備前三石店については内田委員から。

○内田委員 このことについては閉店してまだ時間的に間がないんで、進捗状況がどうかというてもまだ時期尚早かなと思いながら、地元の方からは非常に寂しいとか、あるいは不便だとかという声も一部かも分かりませんが、私の耳に入っておりますので、あえてまだ時間がたっていないんですけど、その後の状況が分かれば教えてもらいたいと思います。

○瀬尾三石総合支所長 ポプラ備前三石店ですけど、7月27日土曜日をもって一時休業状態でございます。さきの委員会でも御報告させていただきましたが、現在株式会社ポプラのほうで新しいオーナーと交渉中でございます。もう何度か交渉をされとるみたいで、新しいオーナーを見つける上で現在も現状の赤字が大きな課題でありまして、ポプラさんのほうで経営改善の方法を検討して、近々また新しいオーナーと交渉を始めるように聞いております。

○内田委員 たしか最初は5年契約というようなお話があったかと思うが、実質的には1年の営業で終わってしまっておりますんで、ペナルティーといいますか、違約金といいますか、そういったところが分かれば教えてください。

○瀬尾三石総合支所長 市の地域活性化出店支援補助金交付要綱に基づいて補助金を交付しております。この規定によりまして、開店年数によって変わってくるんですけど、今回のポプラ備前三石店に限りますと1年超2年以内で閉店ということで、規定によって補助金の交付決定額の100分の80を取り消すということになりますんで、その分補助金をお返しいただくことになります。

○内田委員 私の、少数の意見かも分かりませんが、コンビニはセブンイレブンが最初始まったように7時から23時ということで営業時間がどんなかなと思いながら、そういったところで採算が合うんかな、普通の店が開く前に開けておって、普通の店が閉まった後も営業していくことによって売上げが上がってくるんじゃないかなという気持ちを持っとんですが、そういう中

で営業時間が普通の店と変わらない、時間帯がバッティングするような時間をして厳しいなと思いつながら、しかしプロが考えた営業でしょうからそれなりの考えを持って採算ベースに乗るんだろうなと思いつながら期待はしておったんですが、結果的には赤字ということで、そういったことは専門家にどうこうということは難しいですけど、市のほうとしても営業時間とか云々ということ強く御案内してあげることがいいんじゃないかなと思っております。そういったことを含めてもし何かあればお願いします。

○瀬尾三石総合支所長 ありがとうございます。以前から経営状況が芳しくないということで我々も市の立場といたしますか、お客さんの立場といたしますか、営業時間が朝の8時から夜の8時ということで、さすがに朝の8時開店はもう三石地区の工場の方とかはもう仕事を大体されますんで、それじゃあいけないだろうということで我々お客さんの立場でもっと開店時間を早めたらどうかとか、日曜日休店してましたんで、日曜日もやれば係る人件費等の経費以上の売上げが上がるんじゃないかということで要望はしりました。

先ほど説明したとおり、今ポプラ社がオーナーと交渉中で、経営改善、赤字をどうやって解消していくかというのをもう対策としても株式会社ポプラさんも開店時間を早めるとか、日曜日開店するとかというのが前提条件といたしますか、それを新しいオーナーに説明して、こういう感じで経営を改善して赤字を解消していくということでいろいろ提案している、今交渉しているようでございます。

○内田委員 大変経営は厳しいと思いますが、地元の方も早くオープンすることを期待しておりますので、よろしくお願いします。

○森本委員長 ほかの方。

○山本委員 もし新しいオーナーが決まったとします。その場合は、備前市からの補助金はどのような形になるんですか。

○瀬尾三石総合支所長 今の補助金は、株式会社ME I YOUという会社、組織に補助金を交付しております。ですから、もし新しいオーナーがその株式会社ME I YOUから譲渡を受ければ補助金交付先の株式会社ME I YOUは変わらないんで、返してもらう必要はないと考えております。ただ、譲渡が成立せずとか、新しいオーナーがもう個人でやりたいとか、自分の会社でやりたいという場合は、前のオーナーの株式会社ME I YOUさんからは補助金を返していただいて、新しいオーナーに、新しい補助金を交付するように考えております。

○尾川委員 今話聞きよって、1番は商店街の振興みたいなもんじゃと思う。空き店舗の活用とか、そういう面から。ただ、三石総合支所の問題じゃなしに、私企業というか、私商店に手を出していくかというのは、市としての取組はどうなんかなと思うて。おえんようになったら探して対応するというんが、例えばこっちのほうでもレストランというか、料理屋が調子悪うなってやめていくと。開店のときは空き店舗とか、振興とか、いろいろ国から補助とかいろいろあると思うけど、そのあたりはどういうふうに市としては取組、単なるもう三石だけの捉え方しとんか、

それとも商店街の振興ということでそっちのほうとも連携していきよんか、備前市としての対応、仕組みを説明してもらえたらと思う。

○馬場総合支所部長 空き店舗の利活用とかリフォームとかはまた別の部署になってくると思うんですけども、その点の補助金もあるように聞いております。それから、商工会とか商工会議所にもそちらの支援はあるようには聞いております。

三石としましては、今のプレハブの建物があるということで、この利活用はできないか、それから三石が買物困難地域でなかなか買物に行ける場所もないということで、この利活用ということで始めさせていただいたものでございます。ですから、三石の現ポプラのプレハブにつきましては、このまま今所長が言いましたが、新オーナーも決まるかどうかまだ分からない状態ではあります。これまで赤字が続いていたということで、それを解消しない限りはなかなか引受手もないような中ではございますが、開店時間、それから日曜日の開店、プラスアルファで何か幾らかでも黒字に持っていけるような方策は市としても提案しながらポプラ社さんとも進めていきたいとは考えております。

○尾川委員 一番聞きたいのは商店の、コンビニを含めて赤字になってもう自立できんと。それを備前市としてどこまで救済していくんならということ聞きよんじゃ。あっちこちこれからコンビニもしてくれというのも聞いとるが、あんたらの聞いとるように。どういうふうに市として明確にその辺を、担当課もあるが、商店街の振興とか。そういう課との連携とか、どういうふうに対応してどこまで赤字になっても面倒見るんか。それを示してほしい。三石だけコンビニ、コンビニ言よるけど、あっちこっちいっぱいあるわけじゃ。一般的に飲食業しよるところだって、いろんな事情があってやめて代替えが入ったりしよるけど、それをどういうふうに市として振興していくかというのをもうちょっと。そのあたりとの連携や、空き店舗とか、市街化活性化とか、いろいろ同じような問題じゃと思う。これからあっちこっち起こってくると思うし、どこまで市が面倒見るんならと。あっちこっち店閉まりよる。そのときにどこまで手を差し伸べるかというのを明確に示してほしい。今度説明してもらいたいけど、その担当課と一緒に。

○馬場総合支所部長 全体的なことはなかなかここでお話しするのは難しいと思うんですけども、コンビニ店につきましてもどこでも出してもいいものとは思っておりません。コンビニって本社としても幾らか規約的なものはあるようには聞いております。例えば半径何メートル以内に何軒の家があるとか、それからカーブの曲がったところにはできないとか、そういうようなもの、それはコンビニ本社も事情があろうとは思います。

それから、備前市としてもここにあったほうがいいんじゃないかという明確な基準を今のところはないと思うんですけど、そちらのほうは地元の要望でありましたし、それから市としての明確な方針等は今後決めていかなければならないとは思いますが、今のところは決まってない状態であろうとは思います。

それから、三石だけのことでありませんので、担当部署、いろいろな部署で横軸を持って連

携を取りながら進めていきたいとは考えております。

○尾川委員 和気町の例はコンビニ誘致しとんじゃが。その辺も参考にしながらどういう形で振興を図って、地元の消費者に対してのサービスがどこまでできるのかということを備前市として真剣に考えてやっていかんと三石だけの問題じゃねえと思う、これから。

片方じゃあアルファビゼンでああじゃこうじゃ言よるけど、なかなかそう実際現場というか、どういうふうに育成していくかということを考えてもらいたいと。トップに言わにゃあ話にならんかもしれんけど、それはそれとして担当者が、どういうふうに連携していつて、どういうふうにしたら商店が残っていくかということを、どこまで金出すんかというのをしっかり検討してもらいたいと思う。その辺で全体的な商店街、備前市の商店をどうしていくかということを考えてもらいたいと思うて。

○馬場総合支所部長 備前市の商店とか、いろんなお店につきましては全体的な問題と考えておりますので、支所、出張所とかだけでなく、全体的な課題として横軸を持ってこれから取り組んでいきたいと思います。また、御意見等ありましたらどうぞよろしくお願いいたします。

○石原委員 冒頭でございましたけれども、出店支援補助金の取扱いによって100分の80を返還いただくということだったんですけど、具体的には1,000万円当初補助をされとったうちの800万円をお返しいただくということでよろしいですか。

○瀬尾三石総合支所長 正式には補助交付決定額、もう最初に2,000万円交付決定しておりますんで、2,000万円の80%を取り消すということで、400万円の補助金交付額になりますんで、今現在1,250万円お渡ししておりますので、差引き850万円返還を求めるということになります。

○石原委員 補助金交付要綱では、今1年以上2年以内だからして100分の80を返還というけども、このままポプラさんのほうで調整がついて出店者が決まった場合には新たに要綱に沿って補助金が交付されるのか、それから何年以上営業していただいたら満額の補助交付のままで、そのあたりお聞かせいただけたら。

○瀬尾三石総合支所長 補助金の満額といいますか、一応5年間、5年以上すると返還を求めないということになります。新しいオーナーになりますと、先ほども御説明いたしましたが、株式会社ME I YOUに補助金を交付しておりますんで、その会社を引き継ぐのであればそのまま残り4年間営業していただけたら1年数か月の間はもうカウントされておりますんで、残りの4年間で新たに対象期間というふうになります。

譲渡ができない場合は新規のオーナーとなりますんで、もちろん予算措置等議会等に諮らないといけないですけど、承認いただけたらまたここから新たに5年間という感じになると思います。

○森本委員長 いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、終わらせていただいて、次に移りたいと思います。

***** 文化観光についての調査研究 *****

次、2番目の文化観光についての調査研究に入ります。

まず、1点目の令和6年度の夏祭り、花火大会の実施状況について、これは石原委員からの、資料の説明を受けますか、最初に。

○石原委員 詳しい資料をありがとうございます。こちらお願いさせていただいたのは、特に片上の花火大会ですけど、警備のお手伝いとかしとる中で大勢市民の皆さん来られてて、今年は5,000発というのをお聞きして去年から倍以上に増えて楽しみなんですみたいなことで来られてて、お帰りの際にお話ししたらそんなに増えた実感がないような花火だったけど、どうやったのかなというて。5,000発ってあくまで主催者の発表であって、一々花火の数カウントするわけじゃないでしょうけど。

これ見たら昨年の実行委員会への補助でいきよんでしょうけど、昨年度が2,000発で今年度が5,000発で2.5倍になっとなんですけど、打ち上げ費用については500万円のままだ応据え置かれたままで、だからすごいこの森上煙業さんがほぼ岡山市内の花火大会、こちらがもう専売特許みたいなことでしょうけど、すごい良心的な形で打ち上げていただいて。

お隣の和気町さんで和文字焼きのときに花火大会があって、あちらでは諸物価高騰もあって花火の打ち上げに係る経費も物価高騰のあおりを受けて上がってて、だから去年並みの打ち上げ費用でいくと2,000発だったものを1,200発に抑えなければ予算の範囲で打ち上げられないみたいなことをお聞きしたけど、和気の方から。片や備前市についてはすごいありがたい花火屋さんで、ありがたい打ち上げだったな、改めてこれ見て実感して勉強になりました。

これってでも実行委員会なんで、花火屋との交渉であったり、契約であったりというのはもうあくまで実行委員会のほうでされるんでしょうけど、花火の打ち上げに関して備前市がこれだけ良心的な形で打ち上げていただける何か特筆すべきようなことでもあればお聞かせいただきたい。

○片岡観光・シティプロモーション課長 委員がおっしゃるとおりですけども、確かに花火の金額はなかなか分からないところです。あと、発数についても先ほど言われたように実際見られてる方々が数えているわけではないですけども、花火の玉の号数についても片上のほうは岡山県東部では一番大きな尺玉が上がる湾です。ただその尺玉は10号玉という言い方をするんですけども、他の花火の号数も10号から8号、7号とか玉数がどんどん小さくなっていくことによって単価も大きく幅が変わってきます。

今回は、花火師にもいろいろと御無理を言ったところもあるんですけども、玉の数は去年は2,000発ですけども、その号数を若干調整しながら、あとその花火の下のほうで上がっている仕掛けの小型花火とかというようなところをもう少し色をつけさせていただきながら、そういったところで花火の玉数を調整するという、玉数を調整したというわけではなく、逆に一つ一

つテーマを花火師といろいろと細かく調整して、大小の花火を織り交ぜながら工夫を凝らしていただくということで花火師といろいろと綿密に調整する中で、最終的にここまで発数が増えたというような格好になります。

また、森上煙業さんは県内でいろいろほかのところの地域でも花火を打ち上げられているんですけれども、県内では昨年度津山市さんだったり、鏡野町さんでも5,000発という玉数でやっておられました。そういったところの内容も見させていただきながら、発数を目標にするのではなく、どういうふうな花火を上げるかというところをテーマに片上湾のほうでは今回ドジャースブルーというところのテーマを間に挟ませていただき、青だけの花火をというようなこともしましたので、最終的にそういったところで結果5,000発まで引き上げていただいたというような格好になります。

○石原委員 すごい良心的な花火屋で、経費が抑えられてそれはもう備前市としては申し分ないですけれども、片上でいいますと20時5分から打ち上げが始まって、大方21時で1時間弱ぐらいで。時間にしても去年とそんなに変わらんのかな。2.5倍の打ち上げ数で時間としても一緒ぐらいの時間で、じゃあ型を小さくして数を増やして工夫もされたとあったけど、時間は変わらんけど、小さい花火が去年より約2.5倍上がったということですか。時間もあんまり変わらずに、2.5倍になっとなるから。

○片岡観光・シティプロモーション課長 花火の打ち上げ時間についてもいろいろとそのときに確認したんですけれども、花火師としては仮に30分で上げてくれといっても30分で上げ切ることはできるらしいんです。その辺は間、間、今回は5テーマほどインターバルをとったんですけれども、間、間で花火のテーマを紹介、放送させていただきながら、時間を調整しながら約21時と言いつつ若干21時前には終わっておりますけれども、その時間を調整しながら花火を打ち上げさせていただいたものですから、大小関わらず花火師の上げ方によっては時間の調整も可能ということでは言われておりました。

○尾川委員 お客さんがどういう状況じゃったんか。例えば備前の花火大会について、昨年とか、あるいはどういう動きになっとなか、どっから来たとか、交通手段はどうか、どういう課題があったんか、どういう問題があってこれからどう解決しようかという、そのあたりはどんなかな。駐車場あっちこっちで結構距離があっても歩いていただけたような感じがしたけど。そのあたりはこういうふうに把握されとる、事務局としたら。

○片岡観光・シティプロモーション課長 昨年、片上地区に関しましては昨年度御存じのとおり9年ぶりの再開ということで、なかなか調整がうまくいかず交通整理であったり、駐車場の配備であったりというところで警察、消防、いろんな方からの御意見をいただいて、そういったところを再度今年度の開催前には精査しまして、その辺をもう一度注意しながら駐車場に関しましては昨年度約1,000台のところを100台ほど増させていただいたんですけれども、実質駐車場開放は16時ではあったんですけれども、18時前にはもうほぼほぼ満車になる状態ではあり

ましたので、これについてまた来年度は課題であるかなとは思っております。

また、警備員の配置等については昨年度主には駐車場であったり、メインの交差点であったりというところに警備員を配置していたんですけれども、警察からの御指摘もあって、国道250号沿いの主なメインの交差点に警備員を若干増員して交通整理をしていただき、プロの警備員の方に交通整理をしていただきながら、その他は市の職員であったり、消防さんのほうに協力をいただいて中の細道のところの整備をさせていただきました。

あと、そのほかは対岸沿い、備前牛窓線の路駐等については警戒車を走らせながら路上駐車をしないようにとかということと呼びかけをしながら注意を徹底してまいりましたけれども、昨年度より若干人数は多くなってきておりましたので、来年度もし実施するのであれば精査しなければいけない点はあるのかなというふうには感じております。

○尾川委員 お客はどっからが多いと観測、見たわけ。赤穂線も臨時便が出たという話じゃし、結構倉敷のナンバーが多かったようにわし印象があったけど、そういう辺はどのように把握して。今回は「おかやま」という観光雑誌に備前の花火大会は全部出とったからね。去年は出てなくて、その辺はどんなんか。どういう問題があってどうしようかと思うとるというようなことがあるんかねんかというのはね。

○片岡観光・シティプロモーション課長 すいません、1点漏れておりました。JRさん、西片上駅になりますけれども、列車が岡山方面が午後9時発と30分後でしたか、9時30分前後がもう一便、それから赤穂方面のほうは9時から10時前後にありましたけれども、連結列車に関しましては岡山方面のほう、増便というわけではなく、通常の運行の列車に3両編成のを6両編成にさせていただきました。その際に、9時台の列車に関しましては乗車率が約80%あったということで、JRさんには事前に連結列車であったり、駅のホームでの交通整理もお願いをしておりますして、職員さんに約20名ほど来ていただいたというふうに聞いておりますけれども、9時台の列車に関しましては西片上駅の階段のところになるんですけれども、一旦ホームに入るのを止めて、乗車をさせてから次の便に乗っていただくような交通整理もしていただいたということで、七、八割方はもう岡山方面、倉敷方面からの乗車ではなかったかというふうには聞いております。

○尾川委員 岡山はもうようせんと思う、権利の問題で。そしたら、備前の花火は尺玉が上がるから、要するに数も数じゃけど、大きいやつができるわけ。岡山市は、岡山の旭川のところじゃできんの、大きいやつは。それよう知つとると思うけど、そのあたりの特徴をきちっと訴えてお客さん呼ぶほうがええんか、少ないほうがええんか、去年あたり少ねえほうがええように聞いたけど、今回は結構若い人が多くなって、どういうところからどういうふうに来れたんかなというのが気になって聞きたかった。

また、そういうことで尺玉が上がるというのが特徴を出した花火やっていくべきと思うんで、数も数じゃけど、大きさは違うんじゃないから、質が。その辺答弁よろしいわ。どこら辺から来たん

かを一番。問題は警備でどういう問題が起きたんか、明石の事故からいろいろ気遣うから、どこもね。そんなことを気になっとなじやけど。

○森本委員長 ほかの方。

○丸山副委員長 花火の際には御苦勞をしていただきまして本当ありがとうございました。そのときに、先ほど駐車場が1,000台ぐらいっていうこと、100台プラスアルファで言われましたけど、もう少し、ないのは分かってますけど、駐車場が6時過ぎぐらいでもうどこもいっぱいってというのが今まで、去年やったときでもまだもう少し20時ぐらいまでかな。たしか駐車場が分からないからっていうので空いてた部分もあるし、広報もしてなかったから去年は空いてた。でも、今年は広報した分で県下初で7月にやるっていうので、たくさん来られたっていうのを踏まえていただいて、どんな状態でも受け入れられるような体制じゃないですけど、そうなりと今度警備員とか、いろんな方にまた御苦勞していただかんといけんですが、ぜひとも来年以降も続けるつもりで今年度を糧にさせていただいて、より来ていただく方に満足感、いろんな部分で満足していただくような花火をしていただけたらと思うんで、もう頑張るで、やりまっせっていうだけのことでいいですし、何かあれば御苦勞していただいたんですが、お願いします。

○片岡観光・シティプロモーション課長 来年のことを今申し上げにくいですが、今言われたように駐車場の不足であったり、スタッフ、職員の配置の位置であったり、まだまだ反省点は今回の花火大会を通して今調査している、精査しているところではあります。また来年度実施するということであればその辺も踏まえ、先ほど駐車場も不足というところは今後またJRさんにもさらに協力していただいて、できる限り電車で来て、公共交通機関を使ってきていただくとかというような周知をもう少し徹底して来年度に向けて準備してまいりたいと考えております。

○内田委員 さっき花火の数のことを言われてましたけど、普通花火はあそこへ花火師がトラックで持ってきた段階で玉の数は数えると思います。上がっているのを数える人はおらんのですけどね。花火師が降ろした数を数える。そういう中で、私は今回片上は5,000発上がるということで大変期待はしておったんですが、煙火費見ると昨年と同額ということで、私は片上は迫力が欠けたのかなと思っております。もし5,000発するんであればもう少し予算を増やすかでない、尺玉1個上げると思えば2号玉は何百発あるいは1,000発ぐらい上がると思いますんで、そういったことを考慮しながらしないと、日生は迫力物すごくあったなというふうに感じておりますんで、そういったことも検討一つにお願いしたいと思います。

花火の大きさ、高さ、面積と音の大きさに尺玉は決まってくると思いますんで、そこらをもう一度、よく見ている方については多分片上は少し今回はどんのかなという声があったと思いますんで。

それともう一点、日生の花火で、日生病院の裏にトイレ9つですかね、つくって大変いいなと思ったんですが、その中で男子、女子の割合が2対7で、普通は女子トイレが非常に混むんです

が、今回は男子のところが非常に並んでからなかなかできなかったというのが実際にありましたんで、私も並んどった一人ですが、女子7つはほとんどがらがらで、男2つのほうがもうずっと長い列が、駐車場におれないぐらい列ができてましたんで、そこら辺を。新しい試み、それやったから分かるんであって、次はそういったことを参考にしながら検討していただきたいと思いますが、どんなでしょうか。

○横山日生総合支所長 仮設トイレについては今回、去年27基だった分を委員会等でトイレを増やすということで40基増やしております。比率に関しても、女子トイレのほうはその話の中で必要じゃないかということで女子トイレの比率をそうさせていただきました。言われるように女子のほうが空いてたということもありますんで、今後の参考にさせていただきたいなと思っております。

○森本委員長 この件に関してよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次に行かせていただきます。

次が2点目の令和6年度備前焼まつりについて、内田委員からの提案です。

○内田委員 今年は10月19、20日に開催されることを私は承知しておるんですが、地域の方あるいは備前焼の方からあまり連絡が入ってないんで、今年はどんなかなというようなことも聞いておりますので、改めて今分かる範囲で結構なんで、概略を説明いただければと思いますので、よろしくお願いします。

○桑原備前焼振興課長 御心配をおかけして申し訳ございません。先ほど、内田委員からございましたが、今年度10月19日土曜日、20日日曜日で第40回備前焼まつりを実施するべく準備を進めているところでございます。若干私の調整不足もあり、実行委員会の開催での最終決定には至っておりませんが、来週8月30日に実行委員会を開催し、実施に向け協議をいただくというところになっておりますので、御心配をおかけしておりますが、10月の開催に向け準備を進めているところでございます。

○内田委員 私も実際過去に担当した経緯がありますんで、以前は市、会議所、陶友会が主体となってそれぞれ暗黙の了解で割り振りがされておったように感じておるわけですが、ちょうど私も陶友会の宮本専務が3年前たしか退職をされた後、その後またアルバイトで来とんだということとたしか2年続いたかと思うんですが、そして昨年は市が主導になったのかなというふうに思っておりますが、今回実行委員会はどういったところが入る予定になっとんのですか。

○桑原備前焼振興課長 昨年から事務局は市、私ども備前焼振興課が事務局を持って実行委員会の開催に至っております。実行委員会の中には先ほど内田委員がおっしゃっていただきましたが、陶友会の方、また会議所の方、そういった方も入って御協議をいただいておりますので、実行委員会の委員そのものが大きく替わっているというところではございませんし、実際に御協力をいただけるというところでいろいろと御指導もいただきながら実施に向けて準備を進めている

ところでございます。

○尾川委員 実行委員会これからするというて、このくらいのスケジュール間に合うのかな。ポスターというても普通、いつものスケジュールとどんなかなと思うけど。半年前ぐらいからもうPRしたり、ポスターなんか貼ったりしよるケースが多い。その辺は常識的なことでやっていかんと、いろいろあると思うけど、その辺説明してもらたらと思う。

○桑原備前焼振興課長 委員おっしゃるとおり、若干遅れぎみではございますが、PRに向けてスケジュールも調整をしてきているところでありますし、メディアを通じたPR等の充実も含め、これから順次実施をしていきたいと考えております。御心配をおかけして申し訳ございませんが、最善を尽くしてよりよいものとなるように努力してまいりたいと思いますので、引き続き御協力もよろしくお願いいたします。

○尾川委員 その辺やかましいんがおるで言うえてちょうでえ。大体こんなもん半年とか1年前にもう済んだら決めるぐらいなスケジュール感じゃねえとなかなか人は集まらんよというて。

○森本委員長 ほかの方で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、終わらせていただきます。

説明員入替えのために休憩に入ります。

午前10時33分 休憩

午前10時45分 再開

○森本委員長 それでは、委員会を再開いたします。

***** 安全・防災についての調査研究 *****

次に、安全・防災についての調査研究に入ります。

1点目が南海トラフ地震臨時情報を受けての市の対応についてと備蓄品の状況について、これは尾川委員からの提案です。

○尾川委員 備前市として防災計画ということは規定はあるんですけど、新聞によると倉敷市の場合南海トラフに備えて要支援者を戸別訪問というようなことが記事にあったけど、特に備前市としての今回の注意についての対応を説明してもらえたらと思う。

○竹林危機管理課長 今回の臨時情報、巨大地震注意という内容になりますけども、そちらを受けまして、市の対応を若干説明させていただけたらと思います。

8月8日夕方になりますけども、地震が発生したというところで、国から巨大地震注意ということで発表のほうなされております。こちらを受けまして、まず岡山県のオンラインでの会議が9時に開催されております。こちらで気象台からの臨時情報に関する説明、それから県の今後の体制、それから県民への呼びかけ等の内容について説明がございました。そういった内容を受けまして、備前市としまして住民への伝達というところでホームページ、それから公式LINE等で備蓄品の備え、それから避難所の確認等についての呼びかけを発信させていただいております。

す。

また、翌日9日になりますけども、9時から庁舎内の幹部の会議を開催させていただきまして、臨時情報の内容、他市の状況等を踏まえた今後の市の対応等確認をさせていただいております。その中で、各課対応の準備というところと非常時の職員の参集等の周知をお願いさせていただいております。

また、施設関係等の対応としましては、海岸保全施設、防潮堤等の事前の閉鎖ということで備前、日生地域において実施をさせていただいております。

また、その期間中に実施されております日生みなとまつりにおきましては、会場で避難場所の表示、それから経路等の表示、ハザードマップの配付、それから会場アナウンスにおきまして来場者への注意喚起等を行っております。

その後、15日には臨時情報による呼びかけが終了ということになっております。

その後も引き続き発生時の備え等も継続して行うということで庁舎内で周知はされているところでございます。

○尾川委員 今、るる説明があったけど、会議が遅れたとか、それから市民からの問合せ等について何か反応、そのあたりは担当者としたらどういうふうに捉えられとんですかね、今回の巨大地震注意ということが結構続いたんですけど。

○竹林危機管理課長 全国的にもこちらの臨時情報の発信というのが初めてというところで非常に私どももそうですけども、住民の方等も戸惑った部分もあったかと思います。そういった中で、改めて備蓄品の備えとかでありますとか、避難所の確認、御自宅のハザード状況の確認等というところでのそういった準備はここでもう一度改めてやっていただけたのかなというところでの、そういう感じは受けております。また、そういったハザードの状況等についての問合せ等についても数件あったかと思います。防災マップの再確認というようなところでお願いもしていただけてるところでございます。

○尾川委員 岡山県の動きが結構早くて、その割に自治体がついていってねえという感じがしたけど、その辺の反応。

それから、行政無線というか、防災無線についての活用については、どういうふうに捉えて対応されたんか、教えてください。

○竹林危機管理課長 今回、臨時情報を受けまして、私どもも他市の状況等も確認等もさせていただきながら対応をさせていただいております。特に、沿岸部の自治体との情報共有を図りながらというところでやっておるところでございます。

そういった中で、大体の対応としまして先ほど申しあげました市のホームページとか、LINE等、SNS等を活用した情報発信というところが主な対応のようでした。

また、職員の体制につきましても非常時には参集できるような連絡体制というようなところで確保というところで、備前市におきましても周知をさせていただいているところです。

また、防災無線を活用してというところですけども、あまりこの状況でそういった手段で発信するかどうかというところもあったんですけども、今回はそういった手段は取らずにというところで対応させていただいております。

○尾川委員 完璧なことではできんと思う。今回の注意についての対応について、私ら自身が甘いというか、甘い感じがしてから意外と危機感持ってなかったというたら恥ずかしい話ですけど、そのあたり一度備前市としての対応はよかったかどうかというのを内部的に検討されてどうかと。南海トラフの備えについての認識というのを高めるようにできるだけ頑張ってもらいたいと思うんですが、その点について意見があればお願いします。

○竹林危機管理課長 今回、初めてというところでの戸惑った部分もかなりあったかと思います。こういった経験を踏まえまして、今後各部署において各施設の点検等、日常からの点検、それから避難施設の確認等も継続してやっていけたらと思います。

また、公用車等についても何かあれば対応できるような体制を常にとるというようなところも今回全庁的に共有させていただいてるところでございます。

また、今年度は予算の対応で非常用電源等も配備するようなことにさせていただいております。また、先般の議会で承認いただきましたトイレカーの購入も随時進めているところがございます。今後、こういった臨時情報等も受けまして、追加での配備というところも今後検討が必要かなというところで考えておるところでございます。

○森本委員長 続けて備蓄品、続けてどうぞ。

○尾川委員 備蓄品について、最近皆さんも御承知のとおり米が足らんと、米の買占めしよんじゃねえかと、実際米がねえというて、その備蓄品と、それから市の用意する備蓄品について、こういう機会に何か特に段取りしたというか、というふうな報告事項がありゃあ教えてもらいたいのと、米が足らんとというのは担当課としてはどういうふうに把握されとんか、教えてもらえたらと思う。

○竹林危機管理課長 備蓄品につきましては、県で取りまとめております南海トラフの地震を想定した目標備蓄というところがございまして、そういったものも目安に計画的に進めていけたらと思っております。今回の臨時情報等も受けまして、今年度も予算措置いただいておりますので、随時食料品、それから水等が中心になるかとは思いますが、その辺の備蓄を進めていきたいと思っております。

また、米の不足につきましては、今市場でそういった話題も聞いておりますけど、こちらの備蓄関係ではそういった情報というのは特には入っておりませんが、そういった情報も収集しながら対応していけたらと思います。

○尾川委員 要望ですけど、最後に私が緊張感を持ってねえというんじゃねえんですけど、もっと市としても緊張感を持って今回の南海トラフについての対応を市民にその意識、あまり心配というか、過度に過剰な負担かけてもおかしいですけど、あれだけ国としても動きがあるぐらいで

すから、それなりの情報提供というか、進めてもらいたいと思うんで、その点で何か御意見があったらお願いします。

○竹林危機管理課長 この情報を受けての緊急の呼びかけ自体は1週間で終わりましたが、国も申し上げてますけども、引き続きそういった可能性がなくなったわけではないと、切迫した状態は変わりはないというところを常に発信されておりますので、市としましてもそういった状況を踏まえて継続して呼びかけ等もしていけたらと思っております。

○石原委員 この間の地震のときですか、九州辺りの。避難所開設の報道があった際に、その施設ではコロナ禍以降配備も進んだんか、ぱっと広げて仕切られるような、エリアで仕切るようなやつが整然と並んだようなのをお見かけしたんですけれども、備前市においてもああいう個別のプライベートスペースとして仕切られるような、あの類いのものももう配備が進んでるんだっけ。

○竹林危機管理課長 避難所開設となった場合に、まず第1で開設します施設は16か所ほどありますけども、こちらのほうへはパーティションというんですか、仕切り等も用意は現在しているところがございます。あと、簡易ベッドでありますとか扇風機等について、今それぞれの避難所へは配備させていただいている状況となっております。

○石原委員 これはもうかつての委員会で資料なりで御報告はあったか定かでないですけど、さっき言われた16か所にどれぐらいパーティションであったり、簡易ベッドが配置されとんかという素朴な疑問もあるんですけど。どっかこれまでにとんとんであったらおっしゃっていただいたら遡れますし。

○竹林危機管理課長 今年の2月の定例会の一般質問の資料としまして一覧表で提出のほうさせていただきます。

○森本委員長 それ、確認をしてやってください。

ほかいらっしゃいますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、この件は終了させていただきます。

説明員の方終わられましたら随時退席していただいて結構ですので、お願いいたします。

それでは、次に移らせていただきます。

***** 図書館についての調査研究 *****

次は、図書館についての調査研究で、図書館建設及び運営について、担当のほうから現在までの状況について御説明願えればと思います。

○祇園プロジェクト推進課長 それでは、図書館建設について、現在進捗の状況を報告させていただきます。

図書館につきましては、新築について現在入札が予定どおり執行され、8月20日の火曜日に開札が行われました。現在は、落札結果について事後審査をしている最中であるため、入札結果

はまだ非公表となっております。今後、事後審査完了後には落札業者と仮契約の締結を行う予定です。仮契約ができましたら、9月定例議会に契約締結議案を提出させていただきたいと考えておりますので、その際には御審議のほどよろしくお願いいたします。

○森本委員長 報告が終わりましたが、この件に関して質問、ほかのことでも結構ですけど、図書館に関してありませんか。

○山本委員 図書館の建設予定地の周辺にまだ店舗とか家とか、そういうのは残ってますけど、それは今交渉中ということですか。

○高橋図書館活動課長 交渉がまとまったところで今度の9月議会に予算として提案をさせていただく案件もありますし、まだ交渉中の案件もございます。

○森本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、図書館については終わらせていただきます。

***** 文化スポーツについての調査研究 *****

その次は、文化スポーツについての調査研究に入ります。

ロサンゼルスメジャーリーグ応援ツアーの実施状況について、これは内田委員からですね。

○内田委員 昨日も出発しておりますので、まだ分かりにくいところがあるかも知れませんが、第1弾が148名、昨日出発した49名と新聞で拝見したんですが、最初は2名欠席、今回1名欠席、これはどういう理由で欠席になったんでしょうか。

○杉山文化スポーツ振興課長 参加者の体調不良によるものです。

○内田委員 新聞によりますといろいろ最初も今回も行かれる方が代表して抱負を語られたことが新聞に掲載されておりますが、こういったことをひっくるめてこれ以外も担当部のほうでもし行く方の意見、考えを聞いているようであれば何ぽか披露してもらえればと思うんですが。

○杉山文化スポーツ振興課長 このツアーに参加していただくに当たって、連絡票という形で体調なり、学校名であったり、クラブ活動であったり、そういった状況をお聞きする中で、志望理由という欄を設けておりました。その中では山本選手が先輩に当たるからぜひ応援したいんだっということもありましたし、高校や大学進学に向けて英語をもっと学びたいというような意見もありましたし、もう皆さんそれぞれがそれぞれお感じになられたことを記載されておりましたので、皆さん理由を持って、きちんとした理由を持って参加しているんだなということは感じております。

○内田委員 当然今行ってるのが帰ってくるやつで感想が出ると思うんですが、そういったことをひっくるめてこれ可能かどうか分かりませんが、委員会として行かれた方は何人か代表してこちらに出席してもらおうということ是可以するのでしょうか。

要は、国際交流会じゃ終わった後報告会で行った本人が恐らく報告されておると思います。私はそういう感覚で、無理やりはできませんけど、何人か代表して行った人の感想を委員会で聞く

こともいいんじゃないかなという思いで御提案というか、質問させていただいております。

○森本委員長 報告会なんかは検討されてるんですか。

○杉山文化スポーツ振興課長 まず、皆さんにはそれぞれ作文という形で提出をしていただくことになっております。もう既に行かれる前から原稿用紙5枚をお渡ししておりまして、A日程で行かれた方について何名かはもう既に提出をしていただいております。その提出していただいた作文をどういった形で披露するかとかはまだ検討中ですが、何らかの形で多くの皆様に聞いていただきたいと考えているところです。

○内田委員 ぜひ委員会としても聞きたいと私は思っておりますので、もし可能であれば呼びいただければというふうに思っておりますので、これは提案にしておきます。

○森本委員長 委員会ですということですけど、学生なので、また夏休みも終了するので、いろいろ課題が残ると思いますので、一応担当課のほうがどういう形で報告があるか分かりませんが、それを待っていただくということによろしいですか。

○内田委員 私は土日でも構わないと。

○森本委員長 そういうことで。

○尾川委員 引率はダブって行く人もおられるのかな。それとも、新たな人ばかりが行つとるような形になつとるわけ。一回行ってある程度トラブったこともあると思うんで、その後の処理をするんじゃないかな経験者が行ったほうがええと思うけど、その辺はどういうふうな、トラブルがあったんかねえんか。欠席者は今1名と2名とかあったということですけど、それ以外に特に大きな問題はなかったんかな。

○杉山文化スポーツ振興課長 A日程については大きなトラブルはなく、無事皆さん元気で帰ってこられました。ただ、トラブルがあったからというわけではなく、A日程で随行した職員が分かりやすいということでA日程で随行した職員のうち3名がB日程で昨日随行に参加しております。

○尾川委員 特に、問題はなかったというて終わりでえと思うけど、事実は伝えてこういうことがあったと、こういう問題、今後やるんかやらんか知らんよ。そういうことをやっていくんならどんなかよう分からんけど、やるようなことなんか、もうやめたほうがええかというのを検討材料として提供してもらいてえ。ただ、よかった、よかったじゃなしに本当に効果があったんかどうか。何かあったらお願いします。

○杉山文化スポーツ振興課長 大きなトラブルはなく、無事帰国したというふうに申し上げましたが、トラブルといったら体調を崩すお子さんが何人かいらっしゃったってことになります。事前に薬は持たせてくださいってことでお願いはしてはしておりましたが、また保護者の方とかもそんなに重要に考えておられなくて、3泊5日ほどだったら大丈夫だろうということで頭痛であったり、乗り物酔いであったり、そういったトラブルはあったんですが、A日程のほうでトラブルがあったおかげでといっちはもう大変申し訳ないですけど、B日程についてはもう何か気になるこ

とがあったら全て市販の薬を持っていってくださいということで案内を流すこともできましたので、今回については今日も現地に着いて今夕食、交流会をしているところですが、体調不良者はいませんということで連絡を受けておりますので、そういったところではよかったかなと思っております。

○松本委員 保護者同伴でとか、行った生徒に対する関係した方々何人ぐらい参加したんですか。分らんですか。身内だとか、保護者とか。

○杉山文化スポーツ振興課長 中高生を対象に200名ということで募集をしましたので、お申込みがあったのは中高生200人になります。実際は欠席者がいましたので、197名の参加となります。

○森本委員長 ほかの方で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、この件については終わらせていただきます。

***** 企画政策についての調査研究 *****

続きまして、企画政策についての調査研究に入ります。

ふるさと納税について、これは石原委員からです。

○石原委員 先ほどもございましたロサンゼルスへの応援ツアーですか、そちらの財源にも、ここでは先に企業版ですけれども、企業版ふるさと納税が財源として充てられてて、追加の分のツアーの財源として5,000万円余り新たに御寄附を募っての財源ございましたけど、そちらは提案時にもうほぼ見込みも立って、こちらは順調にいけば早い時期に頂けるであろう旨のお話ございましたけれども、こちらについてはいかがでしょう。

○芳田ふるさと納税課長 企業版ふるさと納税につきましては8月、今日現在ですけれども、27件で5,740万円の御寄附をいただいております。先ほどのロサンゼルスツアーの財源として補正予算で上げさせていただいているのは5,160万円ということで、当然企業版、これに限らずの寄附もいただいておりますので、一応財源としては確保できているのかなというふうに考えております。

○石原委員 今現在5,740万円で、ツアーの追加分については確保できてるんでしょうけれども、これとは別に当初の段階で今年度分としてたしか約5,000万円ほど事業に充当されと思ったんですけれども、そちらも合わせてというたらまだかなり御協力いただくと達成難しいんでしょうけれども。

それから、この5,740万円は企業様から頂く際に事業を特定して頂けるものでしたか。ツアーのためにとか、それからほかの瀬戸内市との共同事業のためにとか、備前焼の窯の補助金のためにとか、それどうでしたかね、事業の。

○芳田ふるさと納税課長 この制度ができた当初は個別事業にということで寄附を募っておりました。制度改正によりまして、備前市では一応まち・ひと・しごと創生推進事業ということでこ

の寄附の認定をいただいておりますので、一応企業様からはこの事業に当たる個別事業は説明はいたしますけども、全体的なものとして寄附を頂いておりますので、必ずこれにという企業さんもおられますけども、もう市のほうでその事業の個別には充ててくださいというようなお話もさせてはいただいております。

○石原委員 ロサンゼルスへの応援ツアーもさっき言われたまち・ひと・しごとの創生事業に当たるんですね。

○芳田ふるさと納税課長 地域再生計画の中ではありますが、こちらとしては誰もがいつでも成長し続け、輝けるまちを目指す事業という中の項目の中でそういった海外を知っていただくとか、文化を知っていただくというところで該当するのかなというふうに考えております。

○石原委員 以前も申し上げたかと思うけれども、年間何分企業版ふるさと納税目標額年間30億円を掲げられてこれまで職員の皆さんも含め御尽力されてきとんでしょうけれども、そういうこともあって例えばですが、これから進むであろう図書館整備事業であったり、旧アルファビゼンの事業であったり、もう既に始まっていますけれども、新美術館の建設であったり、ああいう大きなプロジェクトの際に恐らくさっき言われたまち・ひと・しごとなんかにも何かに該当すると思うんですが、そういう事業も。そういうものに対して全国の企業の皆様御協力いただけませんかというのを僕ずっとイメージもしてて、実際に他の自治体で大きなプロジェクトの際にその事業を特定されて御寄附御協力お願いしますみたいなことも、ケースも多々あると思うんですが、備前市の場合財政当局との調整もあるんでしょうけれども、そういうのは行われんのんかなと思うんですが。

○芳田ふるさと納税課長 先ほど、委員から出ました図書館とアルファにつきましては、国の補助がございます。この制度自体が補助金の裏には充てれない、充てれる補助もあるんですけど、それがデジ電交付金等の財源では充てれるということで補助金の指定がございますので、先ほどお話があった図書館とアルファについては補助金が確定しておりますので、そちらのほうへの寄附は財源としては充てれないというふうに考えております。

○森本委員長 ほかの方でこの件に関して。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、暫時休憩します。

午前11時16分 休憩

午前11時19分 再開

○森本委員長 それでは、委員会を再開いたします。

***** 報告事項 *****

それでは、報告事項として備前市美術館準備室のほうから報告ということでよろしく願いいたします。

○林備前市美術館準備室長 美術館準備室から御報告させていただきます。

このたび美術館の館長就任予定者について記者発表を行いますので、皆様に御承知おきいただきたいと思います。

館長就任予定者は、金子賢治氏でございます。

お手元に経歴書を配付いたしましたので、御覧いただきたいと思います。

簡単に御紹介いたしますと、金子氏は現在東京在住の74歳でございます。サントリー美術館の学芸員を皮切りに学芸員としてのキャリアを積み上げられまして、最後は東京国立近代美術館の学芸課長として長く御活躍されました。現在は、茨城県陶芸美術館の館長を務めておみえです。これまでも様々な公募展の審査員を務めておられまして、今や近現代陶芸評論家の第一人者とでも言うべきお方でございます。備前焼の作家さんにもいい刺激になる方だと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、館長就任予定者の記者発表は8月29日に予定しております。そのため、今お手元にお配りしております資料につきましては、今委員会終了後に回収させていただきますので、御理解をよろしくお願いいたします。

○尾川委員 プロフィール見たら工芸課長になっとなですけど、学芸課長というふうに。どっちが正しいんですか。

○林備前市美術館準備室長 失礼いたしました。読み間違えておりました。すいません、工芸課長でございます。意味としては一緒の意味合いで、学芸のトップという意味です。

○尾川委員 現在のところで茨城県の笠間陶芸大学の校長と書かれとなですけど、このあたりのことについて詳細、分かる範囲で説明してもらったと思う。

○林備前市美術館準備室長 委員がお聞きになられたいのは勤務実態とか、そういう関係のこと……。

○尾川委員 そうですね。ざっくりでええんですけど。

○林備前市美術館準備室長 実際のところこちらについては週に1日程度と聞いております。

具体的に校長として1日何をやられているかということまでは存じ上げません。あと、茨城県の陶芸美術館でございますが、週に3日程度出ておられると伺っております。とうしん美濃陶芸美術館に関しましては月に1日とお伺いしております。

○尾川委員 笠間陶芸大学ですけど、笠間と備前焼はどんな感じですか、そのあたりは。特に、笠間焼と備前焼は関連性がある程度あるのかなと思って、専門的に言うたら、私ら違うのかなと。あれはたしか釉薬を塗ったと思うけど。

○林備前市美術館準備室長 笠間焼に関しましては江戸時代に始まった焼き物ですし、おっしゃられるように釉薬をかけた焼き物です。堆土については鉄分の多い土を使っておりますので、備前焼とも似たところはあるかとは思いますが、ただ備前焼は焼き締め、日本で唯一と言っちゃ語弊があるかもしれませんが、日本の中でも代表する焼き締め陶器でございますので、焼き物で同じ関連はあるというものの、あえてこの校長ですからということではないです。むしろ先ほど

も申しましたようにいろいろな焼き物をずっと学芸員として関わってみえて、先ほども言いました公募展とかの審査員としてすごく関わっておられます。ですので、備前焼今後どういう方向に行ったらいいんじゃないか、いろんな考え方があると思いますが、そういう方向性をこの方に示していただけるんじゃないか、そういう意味で備前焼の作家、特に若い方にそういう方向とかというものを示していただけるんじゃないか、それがすごく期待されることで、備前市の宝になるべき方だと個人的に思っております。

○尾川委員 現在が3館長と校長されとんですけど、備前の美術館長も兼務と。今勤務も月に何日か限られた日にちと思うけど、そのあたり兼務という扱いですか。

○林備前市美術館準備室長 茨城の陶芸美術館の館長をやめられて来られるということではございませんので、兼務になることが前提だと思っております。

○尾川委員 どちらかというともう名誉館長的な感じに取ったらいいんですか。それからどのくらいの年数の契約期間というのはあるんですか、雇用期間というか。それは想定されてないんですか。

○林備前市美術館準備室長 そんなに日数は月に何日も来ていただけないかと思います。これもまだ今後詰めていく話だとは思っておりますが、もちろんおっしゃられるようなその方がこの美術館を指導している、監修している、そういう意味において名誉館長に近い存在だというふうに私も思っております。

○山本委員 プロフィールを出していただいてありがとうございます。ただ、私の知識不足というか、勉強不足なのかもしれませんが、全くこの方どういう方か知りませんが、この業界の方が聞いたら、この業界の方だったら誰でも知ってるような方ですか。名前を聞いたらほおというような方ですか。

○林備前市美術館準備室長 例えば備前焼をやられてる作家さんであれば知らない方はまずいないと思います。焼き物の展示に関しましてももうキャリアを積み重ねられておりますし、焼き物に携わってる方、特に作家さんは間違いなく知ってみえると思います。おおという方だというふうに私は思います。

なかなかこの陶磁器評論家という立場というのは非常に難しいもので、じゃあ国が認定してるとか、そういうものではございません。ですので、こういうキャリアとか、こういう公募展の実績、そういったものを積み重ねての今の金子氏の地位があるというふうに思っております。そういう部分に関しては、職歴とかそういったもの以上のものがありますので、まさに分からないとおっしゃられたようにここにはそこまで書き切れてないというのが現状でございます。

○松本委員 今度美術館、名称変更も含めて新しく生まれ変わると。今までのようじゃいけないという趣旨で建物を建てたり、投資してると思うけど、そういう中で今陶芸、焼き物にこだわってるような感じがするんですね。例えば将来、華道とか、茶道とかといういろんな名前出ましたが、陶芸にこだわらない訪問客も含めて、観覧者を含めて発展していこうという趣旨で名前も

変えたり、建物建てたり、こういう人も選んでということと理解してるんですけど、どうも今の話聞いてたら、月に何回ですか、1週間に1回か来てそういう仕事がこなせれるというたらおかしいですが、どうもぴんとこないんですけどね。どうでしょうか。

○林備前市美術館準備室長 私も設立のときの目的というか、そういうときから携わっていないので、お互いに認識の違いがあるかもしれませんが、私としましてはこの美術館の名称のところで備前焼を外したよという話を聞いております。それに関しては、焼き物をやらないとか、焼き物だけ、もちろん焼き物だけじゃないものも展示しますよという意味も入ってるとは思っておりますが、前回の委員会のときにもお話しさせていただいたんですが、ここは前提として備前焼があるのは当然ですよ。もちろん備前焼作家さんもいっぱいみえます。活躍もされております。その方たちもぜひ生きるような美術館にしたいという考えというのは準備室長としてはそういうふうに解釈させていただいております。

ですので、展示計画とかでも今後焼き物以外のものも積極的には関わっていききたいと、展示の計画を立てていききたいと思っておりますが、当然焼き物は常にある、そして備前焼はいつ来ても見られる、そういう美術館は大前提としてあるんじゃないかというふうに考えております。

○松本委員 分かりました。改めてどういうイメージで抱いたらええんかと思うことを含めて、素朴な疑問も含めて問うたんです。

○石原委員 聞き漏れかも分からんですけど、こちらの方、御就任いただく時期としてはいつ頃から予定されとるということでしたかね。

○林備前市美術館準備室長 美術館ができてからということですので、来年度になるかと思えます。

○石原委員 陶芸に関するかなりの経歴の方ですし、こういう方の知見をもって、含めて新館オープンに当たるんでしたらそのオープン後じゃなくて、その館長の取扱い僕分からんですけど、施設ができてからの館長なんだろうが、オープンに向けて完成が迫った頃からこういう方のアドバイスなり、御指導というか、連携を図っていただいて、陳列であったり、美術館の中身であったりということも含めて積み上げていければより有意な方向へ進むんじゃないかなと思うんですけども、オープン前に展示物が固まる前に大いに関わっていただくべきじゃないかなとは思いますが、そのあたり。

○林備前市美術館準備室長 そのとおりだと思っております。館長として就任、もちろん予定者という形で発表させていただけるのは非常にありがたいことでございますが、その前段といいますか、この業界の大先輩でもありますし、先ほどから言ってます第一人者でもありますので、そういう方たちにいろいろなアドバイスは現在もいただいております。ですので、館長に就任されたとき意図しないことがあるということは恐らくないというふうに考えておりますし、一体でやっていけるというふうに思っております。

○尾川委員 いろいろ話聞いたが、金子さんに白羽の矢を立てたという一番の備前市としての狙

い、取りまとめてもう一度確認したいけど、何に期待しとるかということ。

○林備前市美術館準備室長 幾つかあるかと思いますが、まずは学芸としての経歴がすごいおありということで、いろいろな各館とのつながりのこと、そしてそれは美術品をお借りする際にもそういう下回しといいますか、連絡調整をできる、そういう立場にあるということですね。

それともう一つが、今年も備前ビエンナーレを、公募展を開催されますが、その審査員にもなっていておられます。よそから来た私が言うのも申し訳ないですが、地元の作家に対して今備前焼ってかつてより低調じゃないかっていう意見は皆さん持ってみえるんじゃないかなと思います。それだけ焼き物のトレンドといいますか、焼き物の生活習慣が変わってきて備前焼をなかなか使わないとか、あとお茶をやる人口の方が減ってきているとか、そういうようなことで好みとかいろいろなことが変わってきてるわけですね。そんな中で備前焼売れないからもうやめようかじゃなくて、新しい方向性で探っていかなくちやいけないと思うんですよ。そういう部分を一つ探るものが公募展だと思っておりますので、そういったところで審査員として御活躍いただける方というのはそういう新しいトレンドをつくる、つくり出す可能性のある方という意味で備前としては期待できるんじゃないかと私は思っております。

○森本委員長 ほかの方でございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で終わらせていただきます。

それでは、総務産業委員会を終了いたします。

午前 11 時 37 分 閉会